

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ数
視能訓練士	1名
歯科衛生士	3名(常勤2名 非常勤1名)

【視能訓練士】

＜特色と概要＞

救命救急センターに搬送された頭部外傷などによる眼窩骨折や脳疾患の患者の眼科検査、全身疾患に合併する眼疾患、薬剤に起因する眼疾患、および眼症状や眼疾患のある患者の眼科検査を行っている。

また、健診や人間ドックをはじめ、航空身体検査やVDT検査(情報機器作業に関する健康診断)などの特殊な眼科健診の検査も行っている。

当院における検査項目は、視力検査、屈折検査、眼圧検査、視野検査、眼位・眼球運動検査、視神経検査、眼球突出度検査、両眼視機能検査、調節検査、色覚検査、網膜電図検査、角膜形状解析検査、角膜内皮検査、眼底写真撮影検査、眼底3次元画像解析検査などである。

＜今年度の成果と来年度への抱負＞

安全で円滑に外来診療が行えるように、医師・看護師と連携し、チーム医療の実践に努めた。

患者の全身状態を考えながら、検査の優先順位を組み立て、限られた時間で必要な検査を行えるように努めた。

一方で、日々の外来診療において、待ち時間が少なくなるように、医師・看護師と調整しているが、検査が集中した時は、待ち時間が発生していることが課題である。検査の待ち時間が発生した場合には、患者に説明と案内を行うことで、大きなトラブルなく、受け入れができた。

人間ドック、健診受診者については、待ち時間が発生していることがあるため、調整が必要である。

さらに、円滑に検査の受け入れができる体制を作り、患者への負担を軽減し、効率よく検査を行うことで、患者サービスの向上につなげる。

視能訓練士として検査を行うだけでなく、患者の不安を取り除けるように寄り添い、患者の負担を少しでも軽減できるように検査を行っていききたい。

また、検査の精度を高め、少しでも医師の診断の助けになるように、視能訓練士として眼科診療における役割を果たしていききたい。

【歯科衛生士】 ＜特色と概要＞

泉州地域の中核病院である当センターにおいて顎・口腔領域の外科を専門とする口腔外科に従事し、主に下記の診療にあたっている。

- (1) 一般歯科医院での治療が困難な患者の診察や外来小手術の診療補助
- (2) 入院患者の歯科治療の診療補助、専門的口腔ケア
- (3) 全身麻酔手術や化学療法、放射線療法を受けられる患者の口腔衛生指導、専門的口腔ケア
- (4) 周産期センターにおける両親学級での口腔衛生指導

＜今年度の成果と来年度への抱負＞

1、外来小手術の補助1,773件

2、口腔機能管理

・周術期口腔機能管理(口腔ケア)

消化器外科419件 呼吸器外科32件 乳腺外科97件
心臓血管外科10件 脳神経外科3件 泌尿器科95件
消化器内科3件 血液内科24件 口腔外科4件

合計687件

・その他の口腔機能管理(口腔ケア)176件

3、多職種連携の推進

- ① 病棟多職種連携カンファレンスに参加
(毎週金曜日)
- ② さのテレ！健康のススメに出演
「口腔ケアの重要性」
- ③ 両親学級 妊産婦を対象にハイブリッド(現場とZoom)で口腔衛生指導

現在、歯科医師5名(常勤3名非常勤2名)による診察と小手術の診療補助に対応しつつ、新年度から始動した口腔ケア専用診療室により、周術期口腔機能管理を含む口腔ケアの件数増加が見込まれる。

今後は診療室拡充に十分対応できるマンパワーを念頭に、おいた歯科衛生士の増員、体制強化を目指し、チーム医療の一員として歯科衛生士の役割を果たしていききたい。